

路盤材材料試験結果報告書

依頼者：株式会社 早出川建設

再生クラッシャーラン【ARC-40（C混合）】

材料名：クラッシャーラン 7 : グリズリアンダー材 3

クラッシャーラン : 五泉市 論瀬 地内

材料産地：グリズリアンダー材 : 五泉舗材(株) 五泉合材工場

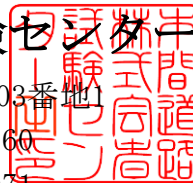
令和6年3月

本間道路株式会社 試験

〒959-1604 新潟県五泉市論瀬8803番地

TEL : 0250-42-5560

FAX : 0250-47-7071



試験概要

依頼者：株式会社 早出川建設

材料名：再生クラッシャーラン【ARC-40（C混合）】
クラッシャーラン 7：グリズリアンダー材 3

材料産地：クラッシャーラン：五泉市 論瀬 地内
グリズリアンダー材：五泉舗材(株) 五泉合材工場

試験期間：自 令和 6 年 3 月 11 日
至 令和 6 年 3 月 28 日

試験内容：試験内容は以下のとおりである。

- 1) 骨材のふるい分け試験 JIS A 1102
- 2) 土の液性限界・塑性限界試験 JIS A 1205
- 3) 突固めによる土の締固め試験 JIS A 1210
- 4) 修正CBR試験 舗装調査・試験法便覧
- 5) 異物混入率試験 コンクリート系・アスファルト系再生材利用の手引き(案)

試験会社：本間道路株式会社 試験センター

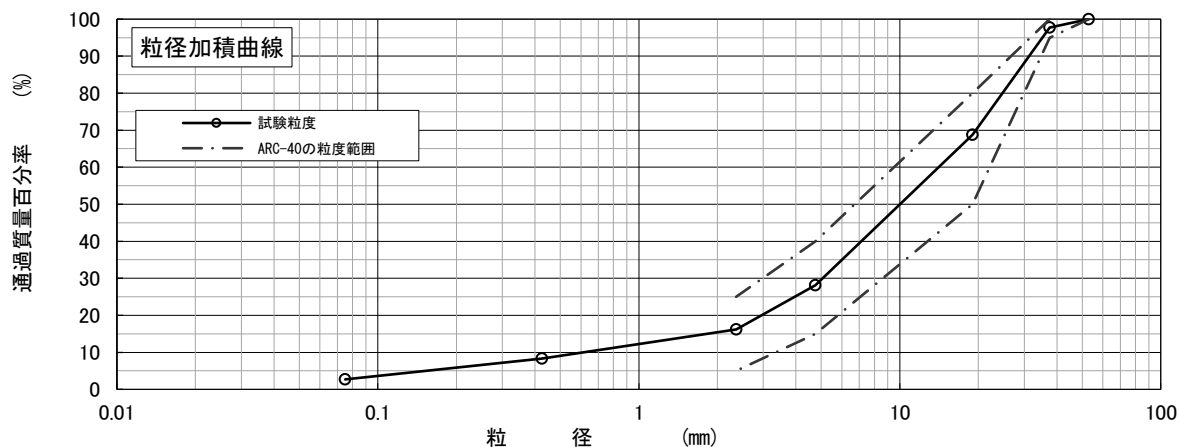
整理担当者：金田 透 

路盤材材料試験結果一覧表

材 料 名 : 再生クラッシュラン【ARC-40 (C混合)】 試験年月日 : 2024年3月28日

用 途 : 下層路盤 整理担当者 : 金田 透

試 験 項 目		試 験 規 格	試 験 値	規 格 値	
一 般	含水比 (搬入時) (%)	JIS A 1203	—		
	密度・吸水率	表 乾 密 度 (g/cm ³)	JIS A 1109 JIS A 1110	—	
		か さ 密 度 (g/cm ³)		—	
		見 掛 密 度 (g/cm ³)		—	
		吸 水 率		—	
	コンシステンシー	液 性 限 界 (%)	JIS A 1205	N.P	
		塑 性 限 界 (%)		N.P	
		塑 性 指 数		N.P	6以下
	すり減り減量 (%)	JIS A 1121	—		
	損 失 量 (%)	JIS A 1122	—		
異 物 混 入 率 (%)	※1	0.06	1.5以下		
粒 度 特 性	通過質量百分率 (%)	53 (mm)	100.0	100	
		37.5	97.7	95 ~ 100	
		31.5			
		26.5			
		19	68.8	50 ~ 80	
		13.2			
		4.75	28.1	15 ~ 40	
		2.36	16.2	5 ~ 25	
		0.425	8.3		
		0.075	2.7		
締 固 め 特 性	試 験 方 法	JIS A 1210	E-b法		
	最 大 乾 燥 密 度 (g/cm ³)		2.082		
	最 適 含 水 比 (%)		4.9		
	修 正 C B R (%)		舗装調査・試験法便覧	64.2	40以上



備考) ※1 コンクリート系・アスファルト系再生材利用の手引き(案)

JIS A 1102	骨材のふるい分け試験
------------	-------------------

調査名・目的 再生路盤材 材料試験	試験年月日 2024年3月13日
試料番号 再生クランチャー ARC-40(C混合)	使用場所 本間道路(株)試験センター
試料採取場所 五泉市 論瀬 地内	試験者 金田 透

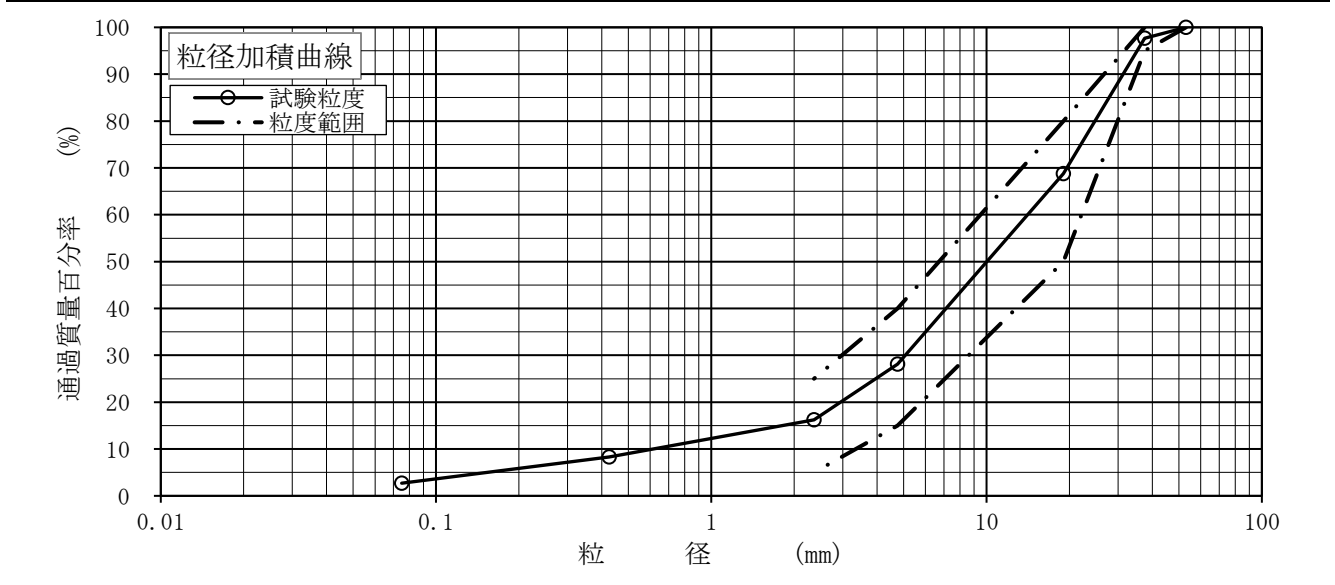
(全試料+容器)質量	15034.5	g	(2.36mm通過試料+容器)質量	726.3	g
容器質量	0.0	g	容器質量		g
全試料質量	15034.5	g	2.36mm通過試料質量	726.3	g
2.36mm残留試料質量	12595.3	g	全試料に対する2.36mm通過試料の割合	16.224	%

2.36mmふるい残留試料のふるい分け

ふるい (mm)	加積残留試料 +容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留 質量 (g)	加積 残留率 (%)	通過質量 百分率 (%)
75					
* 53			0.0	0.0	100.0
* 37.5			339.6	2.3	97.7
31.5					
26.5					
* 19			4687.9	31.2	68.8
13.2					
9.5					
* 4.75			10804.1	71.9	28.1
* 2.36			12595.3	83.8	16.2

2.36mmふるい通過試料のふるい分け

ふるい (mm)	加積残留試料 +容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留 質量 (g)	加積 残留率 (%)	通過質量 百分率 (%)	全試料に対す る通過質量 百分率 (%)
1.18						
0.6						
0.425			353.2	48.6	51.4	8.3
0.3						
0.15						
0.075			603.6	83.1	16.9	2.7

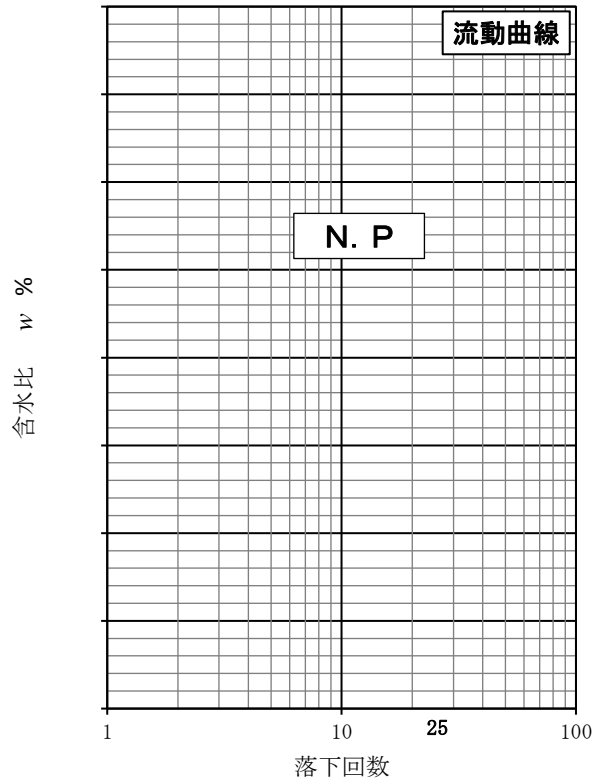


調査件名 再生路盤材材料試験

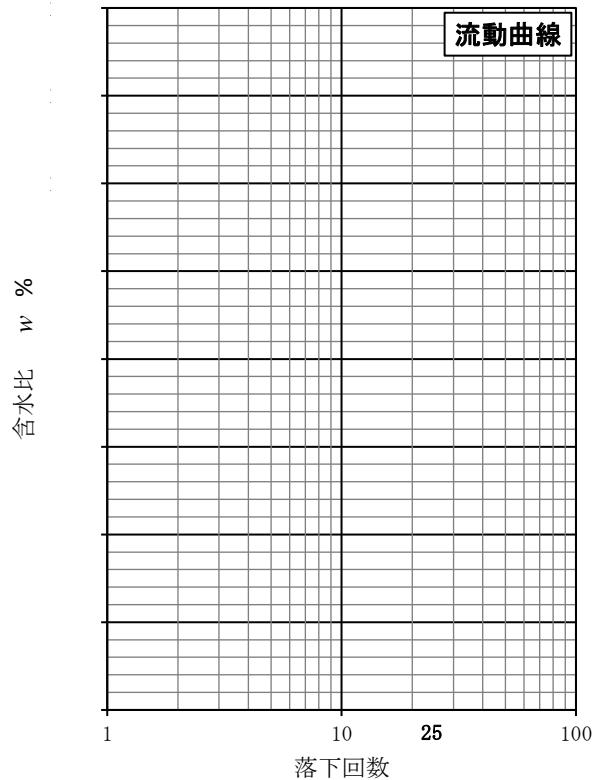
試験年月日 2024年3月13日

試験者 金田 透

試料番号(深さ)		再生クラッシャーレン ARC-40(C混合)	
液性限界試験			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g	溝切り不可,測定不能	
	mc g		
	w %		
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
塑性限界試験			
含 水 比	容器 No.		
	ma g	ひも状にならず測定不能	
	mb g		
	mc g		
	w %		
液性限界 w_L %	塑性限界 w_p %	塑性指数 I_p	
N. P	N. P	N. P	



試料番号(深さ)			
液性限界試験			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
塑性限界試験			
含 水 比	容器 No.		
	ma g		
	mb g		
	mc g		
	w %		
液性限界 w_L %	塑性限界 w_p %	塑性指数 I_p	



特記事項

JIS A 1210 JGS 0711	突固めによる土の締固め試験（測定）
------------------------	-------------------

調査件名 再生路盤材 材料試験

試験年月日 2024年 3月 15日

試料番号(深 さ) 再生クラッシャーラン ARC-40(C混合)

試験者 金田 透

試験方法		E-b	土質名称				
試料の準備方法		乾燥法	ランマー質量 kg	4.5	モ ー ル ド	内径 cm	15
試料の使用方法		非繰返し法	落下高さ cm	45		高さ ¹⁾ cm	12.5
含水比	試料分取後 ω ₀ %		突固め回数 回/層	92		容量 V cm ³	2209
	乾燥処理後 ω ₁ %		突固め層数 層	3	質量 m ₁ ²⁾ g	3923	
測定 No.		1	2	3	4		
(試料+モールド)質量 m ₂ ²⁾ g		8481	8561	8664	8737		
湿潤密度 ρ _t g/cm ³		2.063	2.100	2.146	2.179		
平均含水比 ω %		2.0	2.8	3.8	4.7		
乾燥密度 ρ _d g/cm ³		2.023	2.043	2.067	2.081		
含水比	容器 No.	225	217	214	238		
	m _a g	5148.3	5211.7	5293.4	5364.6		
	m _b g	5059.3	5086.0	5121.6	5149.9		
	m _c g	593.2	579.2	561.2	564.5		
	ω %	2.0	2.8	3.8	4.7		
比	容器 No.						
	m _a g						
	m _b g						
	m _c g						
	ω %						
測定 No.		5	6	7	8		
(試料+モールド)質量 m ₂ ²⁾ g		8760	8736				
湿潤密度 ρ _t g/cm ³		2.190	2.179				
平均含水比 ω %		5.5	6.4				
乾燥密度 ρ _d g/cm ³		2.076	2.048				
含水比	容器 No.	222	209				
	m _a g	5390.5	5377.8				
	m _b g	5137.7	5089.0				
	m _c g	566.3	580.6				
	ω %	5.5	6.4				
比	容器 No.						
	m _a g						
	m _b g						
	m _c g						
	ω %						

特記事項

- 1) 内径15 cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は底板を含む。

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1 + \omega / 100}$$

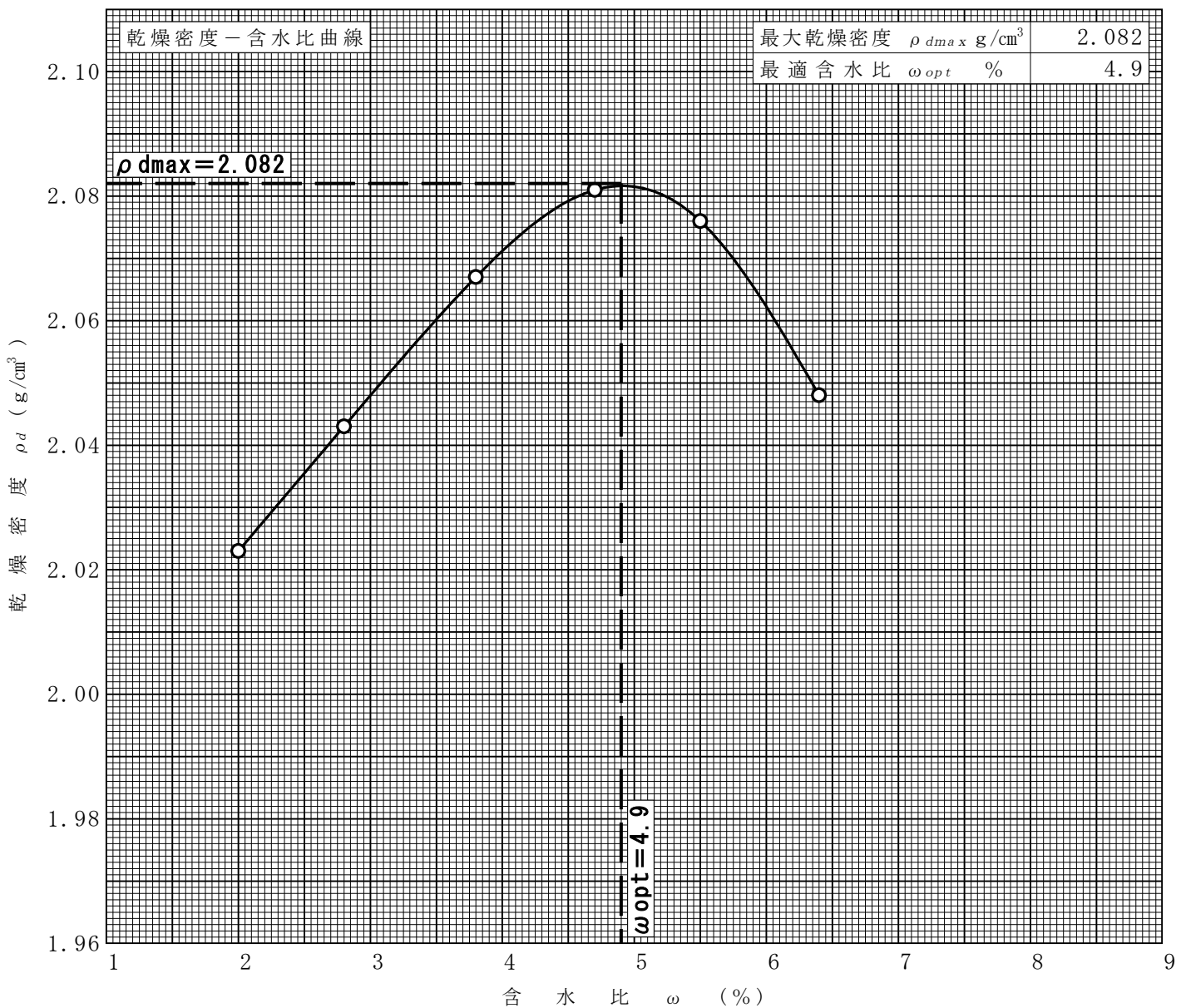
調査件名 再生路盤材 材料試験

試験年月日 2024年 3月 15日

試料番号(深 さ) 再生クラッシャーラン ARC-40(C混合)

試験者 金田 透

試験方法	E-b		土質名称					
試料の準備方法	乾燥法		ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³			
試料の使用方法	非繰返し法		落下高さ cm	45	試料調整前の最大粒径 mm		37.5	
含水比	試料分取後 ω_0 %			突固め回数 回/層	92	モールド	内径 cm	15
	乾燥処理後 ω_1 %			突固め層数 層	3		高さ ¹⁾ cm	12.5
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 ω %	2.0	2.8	3.8	4.7	5.5	6.4		
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.023	2.043	2.067	2.081	2.076	2.048		



特記事項

1) 内径15 cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho_w}{\rho_w / \rho_s + \omega / 100}$$

調査件名 再生路盤材 材料試験 試験年月日 2024年 3月 18日

試料番号(深 さ) 再生クラッシュラン ARC-40(C混合) 試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	92	最適含水比 ω_{opt} %	4.9	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.082	
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ ¹⁾ cm	12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	133	127					
	m_a g	1403.7	1363.7					
	m_b g	1350.4	1313.1					
	m_c g	279.9	275.1					
	ω_1 %	5.0	4.9					
平均値 ω_1 %		5.0		5.0		5.0		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{(2)}$ g	11680		11722		11627		
	モールド質量 $m_l^{(2)}$ g	6863		6892		6797		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.181		2.187		2.187		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.077		2.083		2.083		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		0	0.00	0	0.00	0	0.00
(試料+モールド)質量 $m_3^{(2)}$ g	11750		11814		11724			
膨張比 γ_e %	0.000		0.000		0.000			
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³	2.212		2.228		2.230			
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	2.077		2.083		2.083			
平均含水比 ω' %	6.5		7.0		7.1			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

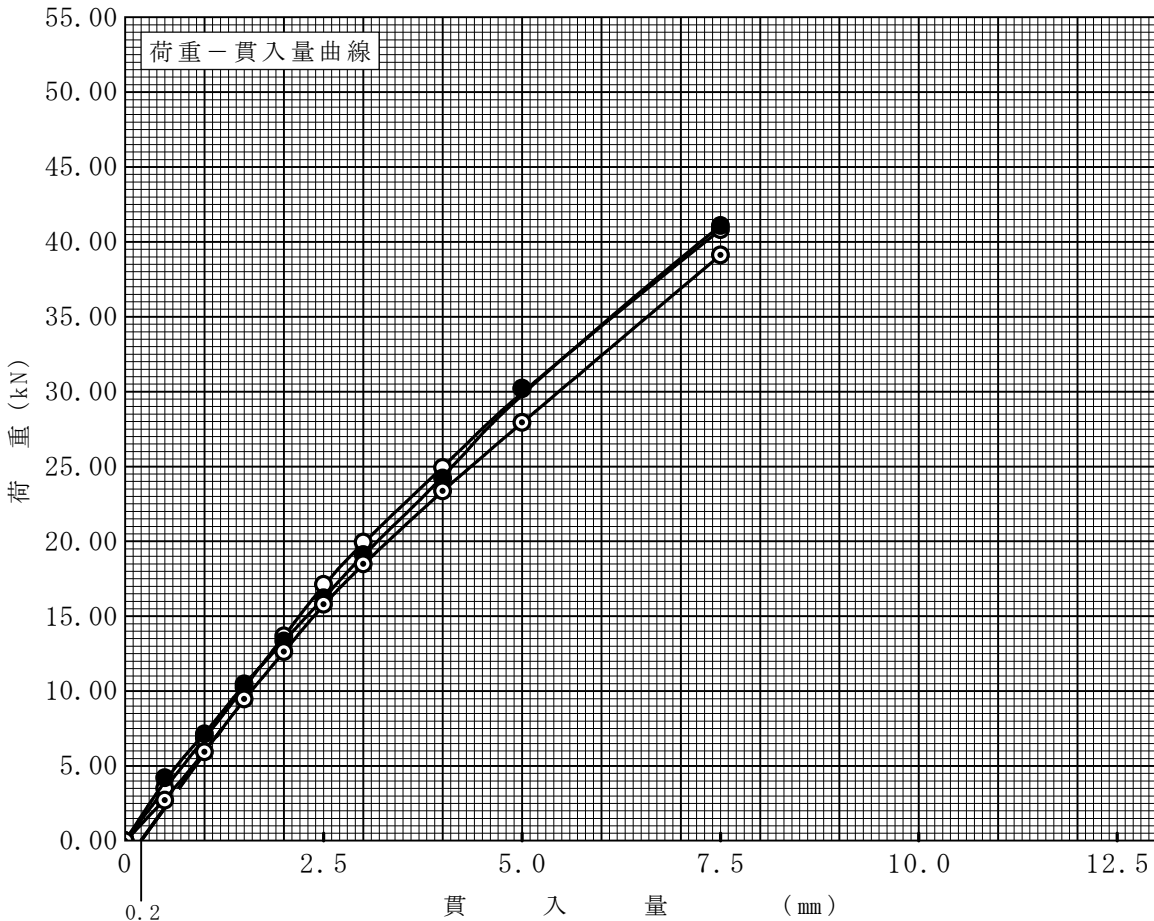
調査件名 再生路盤材 材料試験 試験年月日 2024年 3月 22日

試料番号(深 さ) 再生クラッシュラン ARC-40(C混合) 試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	92	自然含水比 ω_n %	
試験条件	水浸	突固め層数 層	3	最適含水比 ω_{opt} %	4.9
養生条件	日空气中	モールド	内径 cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾ cm	12.5	

供試体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	5.0	5.0	5.0
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	2.077	2.083	2.083
	後	膨張比 γ_e %	0.000	0.000	0.000
		平均含水比 ω' %	6.5	7.0	7.1
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	2.077	2.083	2.083
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		127.2	121.1	125.9
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		150.3	149.6	144.8
	C B R %		150.3	149.6	144.8

平均 C B R %
148.2



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No. 1	17.044	29.909
供試体 No. 2	16.221	29.773
供試体 No. 3	16.875	28.817
標準荷重 kN	13.4	19.9

調査件名 再生路盤材 材料試験 試験年月日 2024年 3月 18日

試料番号(深 さ) 再生クラッシュラン ARC-40(C混合) 試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %	
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	42	最適含水比 ω_{opt} %
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15
				高さ ¹⁾ cm	12.5
				荷重板質量 kg	5.0
				モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	107	141					
	m_a g	1461.2	1472.4					
	m_b g	1406.3	1418.0					
	m_c g	296.2	288.7					
	ω_1 %	4.9	4.8					
平均値 ω_1 %		4.9		4.9		4.9		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11536		11531		11544		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6913		6864		6895		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.093		2.113		2.105		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.995		2.014		2.007		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		1	0.01	4	0.04	2	0.02
(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g	11704		11714		11711			
膨張比 γ_e %	0.008		0.032		0.016			
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³	2.169		2.195		2.180			
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.995		2.013		2.007			
平均含水比 ω' %	8.7		9.0		8.6			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

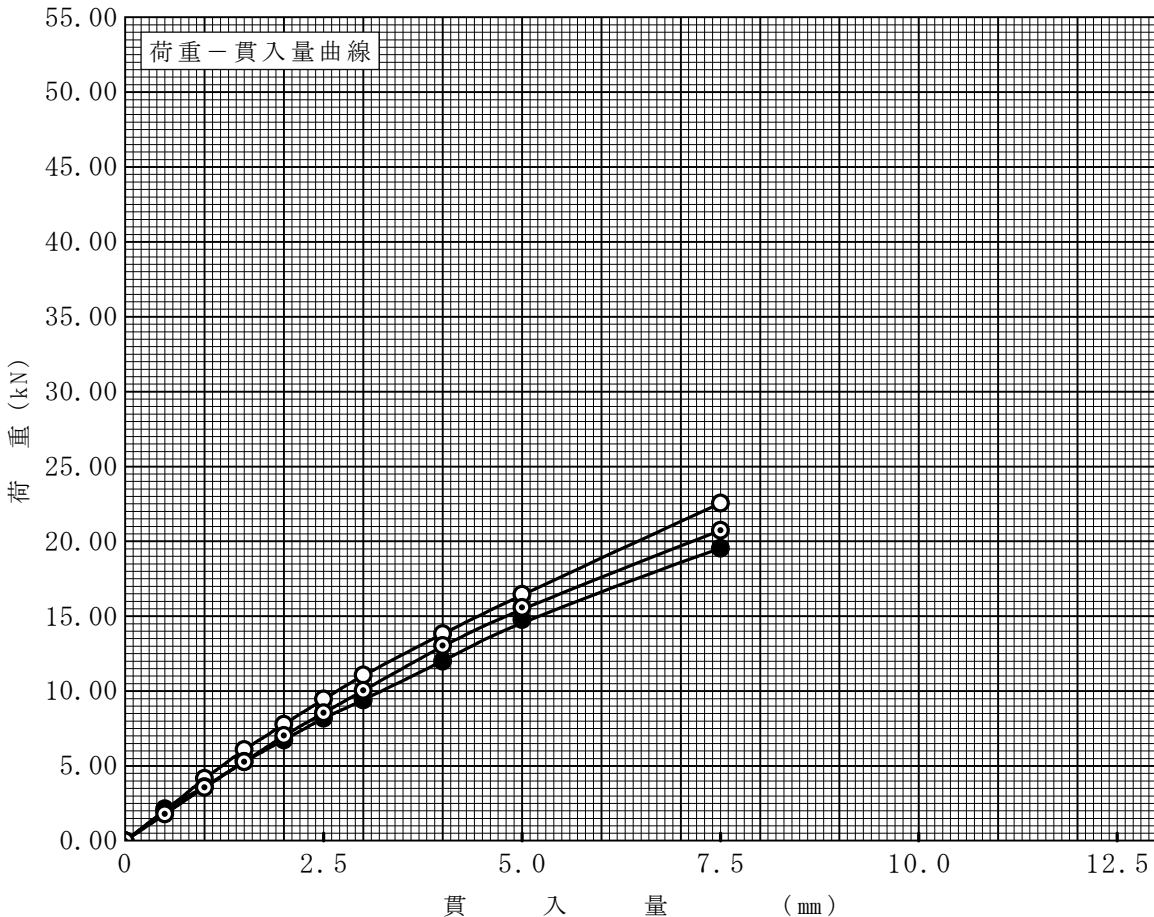
調査件名 再生路盤材 材料試験 試験年月日 2024年 3月 22日

試料番号(深 さ) 再生クラッシュラン ARC-40(C混合) 試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	42	自然含水比 ω_n %	
試験条件	水浸	突固め層数 層	3	最適含水比 ω_{opt} %	4.9
養生条件	日空气中	モールド	内径 cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾ cm	12.5	

供試体 No.		1	2	3	
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	4.9	4.9	4.9
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.995	2.014	2.007
	後	膨張比 γ_e %	0.008	0.032	0.016
		平均含水比 ω' %	8.7	9.0	8.6
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.995	2.013	2.007
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %	70.6	60.9	63.7	
	貫入量5.0mmにおけるCBR %	82.5	73.1	77.6	
	C B R %	82.5	73.1	77.6	

平均 C B R %
77.7



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No. 1	9.457	16.410
供試体 No. 2	8.164	14.543
供試体 No. 3	8.539	15.444
標準荷重 kN	13.4	19.9

JIS A 1211 JGS 0721	CBR試験（初期状態，吸水膨張試験）
------------------------	--------------------

調査件名 再生路盤材 材料試験 試験年月日 2024年 3月 18日

試料番号(深 さ) 再生クラッシュラン ARC-40(C混合) 試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称			
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 ω_n %			
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	17	最適含水比 ω_{opt} %	4.9	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.082	
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ ¹⁾ cm	12.5	モールド容量 V cm ³	2209

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	136	117					
	m_a g	1336.7	1463.2					
	m_b g	1288.5	1409.2					
	m_c g	292.8	290.3					
	ω_1 %	4.8	4.8					
平均値 ω_1 %		4.8		4.8		4.9		
密度	(試料+モールド)質量 $m_2^{2)}$ g	11225		11338		11390		
	モールド質量 $m_l^{2)}$ g	6743		6875		6916		
	湿潤密度 ρ_t g/cm ³	2.029		2.020		2.025		
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.936		1.927		1.930		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		8	0.08	7	0.07	5	0.05
(試料+モールド)質量 $m_3^{2)}$ g	11464		11560		11616			
膨張比 γ_e %	0.064		0.056		0.040			
湿潤密度 ρ'_t g/cm ³	2.136		2.120		2.127			
乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.935		1.926		1.929			
平均含水比 ω' %	10.4		10.1		10.3			

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く。
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_l}{V (1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

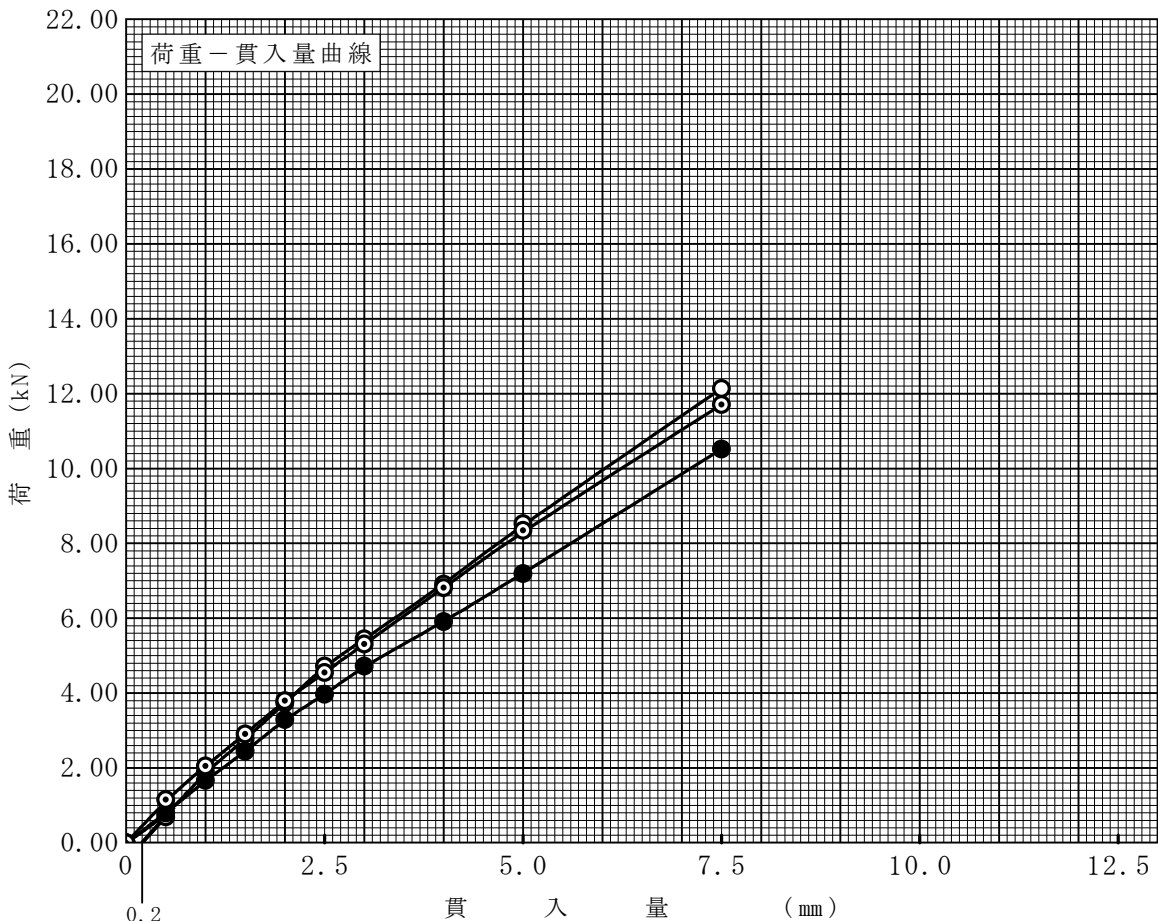
調査件名 再生路盤材 材料試験 試験年月日 2024年 3月 22日

試料番号(深 さ) 再生クラッシュラン ARC-40(C混合) 試験者 金田 透

試験方法	締固めた土	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	
突固め方法	修正CBR	落下高さ cm	45	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層	17	自然含水比 ω_n %	
試験条件	水浸	突固め層数 層	3	最適含水比 ω_{opt} %	4.9
養生条件	日空气中	モールド	内径 cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	4日水浸		高さ ¹⁾ cm	12.5	

供試体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	4.8	4.8	4.9
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.936	1.927	1.930
	後	膨張比 γ_e %	0.064	0.056	0.040
		平均含水比 ω' %	10.4	10.1	10.3
		乾燥密度 ρ'_d g/cm ³	1.935	1.926	1.929
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		37.4	29.7	34.0
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		44.1	36.2	41.7
	C B R %		44.1	36.2	41.7

平均 C B R %
40.7



特記事項
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重 1 供試体 No.	5.006	8.776
荷重 2 供試体 No.	3.977	7.206
荷重 3 供試体 No.	4.552	8.295
標準荷重 kN	13.4	19.9

修 正 C B R 試 験

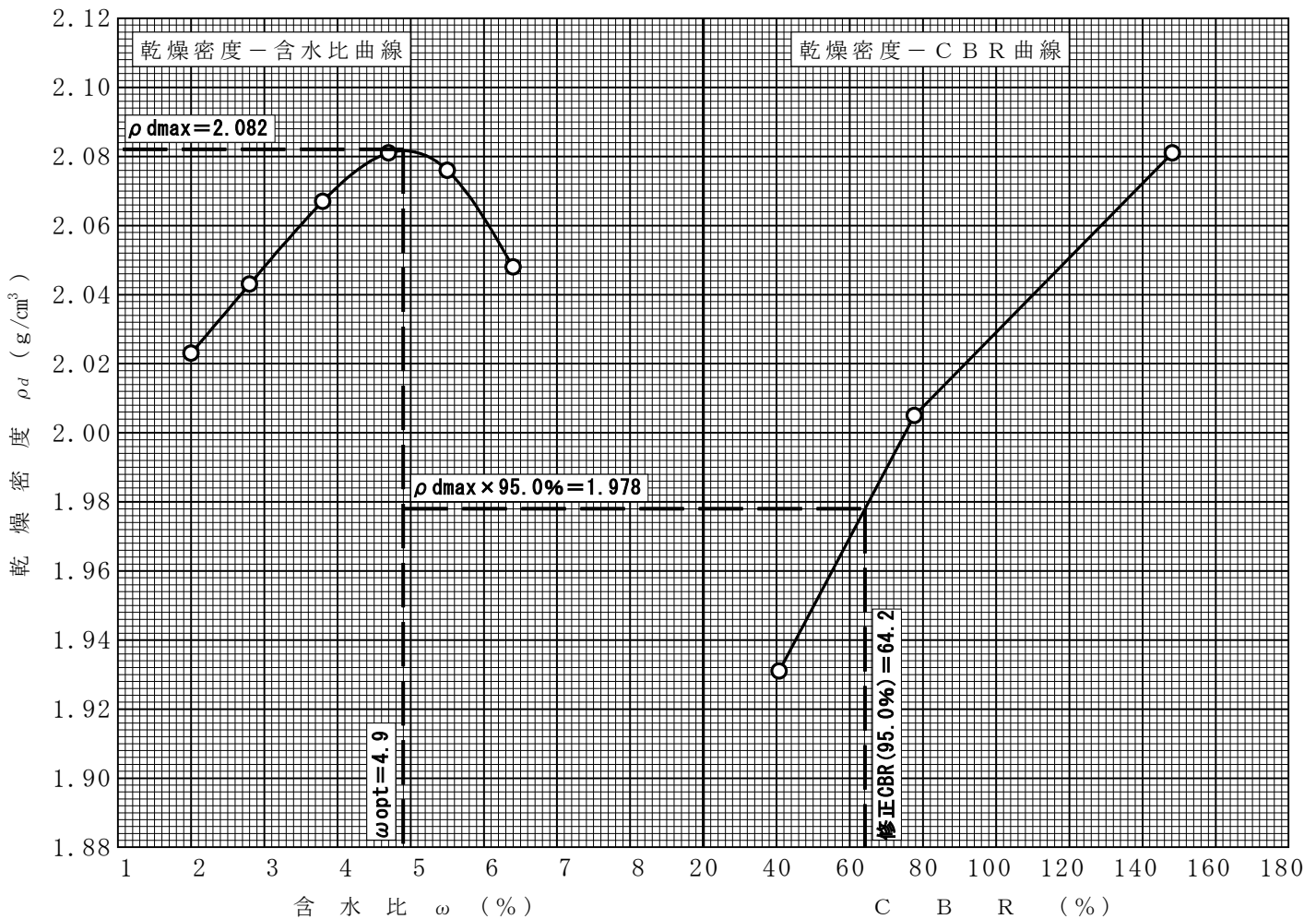
調査件名 再生路盤材 材料試験

試験年月日 2024年 3月 25日

試料番号(深 さ) 再生クラッシャーラン ARC-40(C混合)

試 験 者 金 田 透

供 試 体 No.	92-1, 2, 3			42-1, 2, 3			17-1, 2, 3		
突 固 め 回 数 回/層	92 (3層)			42 (3層)			17 (3層)		
乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³	2.077	2.083	2.083	1.995	2.014	2.007	1.936	1.927	1.930
平 均 値 ρ_d g/cm ³	2.081			2.005			1.931		
貫入量2.5mmにおけるCBR %	127.2	121.1	125.9	70.6	60.9	63.7	37.4	29.7	34.0
平 均 値 %	124.7			65.1			33.7		
貫入量5.0mmにおけるCBR %	150.3	149.6	144.8	82.5	73.1	77.6	44.1	36.2	41.7
平 均 値 %	148.2			77.7			40.7		
ランマー質量 kg	4.5			最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	2.082		締 固 め 度 %	95.0	
				最適含水比 ω_{opt} %	4.9		修正 C B R %	64.2	



特記事項

異物混入率試験報告書

材 料 名 : 再生クランチャー ARC-40(C混合) 試験年月日 : 2024年3月19日
 製造者名 : 株式会社 早出川建設 試験場所 : 本間道路(株)試験センター
 採取場所 : 五泉市 論瀬 地内 試験者名 : 金 田 透

骨材の最大寸法 40 mm

構成比率: Co系再生骨材:As系再生骨材:C-40= 0 : 30 : 70

測定番号		1	2
① 試料質量 (g)		15554	15379
② 軟質系異物質量 (g)		2.1	3.0
③ 軟質系異物混入率 (%)	②/①×100	0.01	0.02
④ 硬質系異物質量 (g)		4.9	4.2
⑤ 硬質系異物混入率 (%)	②/①×100	0.03	0.03
⑥ 有機系異物質量 (g)		1.8	3.6
⑦ 有機系異物混入率 (%)	②/①×100	0.01	0.02
⑧ 異物混入率総和 (%)	③+⑤+⑦	0.05	0.07
平 均		0.06	

備考

- ① 軟質系混合物 : プラスチック片、ガラス片、石膏片、ビニール片等
- ② 硬質系混合物 : 煉瓦片、タイル片、金属片等
- ③ 有機質系混合物 : 木材片、紙片、草根等

※ 異物混入率の上限値の目安

種類	総量規格値(質量比)
プラスチック片、ガラス屑	1.5%以下
煉瓦・タイル片・金属片	
木材等有機物、紙	

Co系・As系再生材利用の手引き(案)より